

Syllabus Id	syl.-052366		
Subject Id	sub-0523602		
作成年月日	050203		
授業科目名	学外実習 (Off-Campus Training)		
担当教員名	鄭 萬溶		
対象クラス	電子制御工学科4年		
単位数	1高専単位		
必修/選択	選択		
開講時期	集中講義		
授業区分			
授業形態	実習		
実施場所	受け入れる企業が指定する場所		
授業の概要(本教科の工学的、社会的あるいは産業的意味)			
本学科の教育目標「C.工学的な解析・分析力、およびそれらを創造的に統合する能力」、「D.論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力」、および「E.与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力」を養うために、企業など学外において専門的な作業を実施する。			
準備学習(この授業を受講するとき前提となる知識)			
受け入れ先企業の業務内容、業務内容に関連した専門的な知識			
学習・教育目標	Weight	目標	
		A	工学倫理の自覚と多面的考察力の養成
		B	社会要請に応えられる工学基礎学力の養成
		C	工学専門知識の創造的活用能力の養成
		D	国際的な受信・発信能力の養成
		E	産業現場における実務への対応能力と、自覚的に自己研鑽を継続できる能力の養成
C:工学的な解析・分析力、及びそれらを創造的に統合する能力			
学習・教育目標の達成度検査			
実施報告書、作業日誌、口頭試問による			
授業目標			
1. 社会人としての基本的なマナーを遵守したコミュニケーションができる。 2. 企業における業務の遂行方法(開発手順、作業手順、文書管理など)について説明できる。 3. 一日の作業内容を的確に報告できる。			
授業計画(参観の可否は受け入れ先企業による。参観する場合は企業に連絡を取ってください。)			
回	メインテーマ	サブテーマ	参観
第1回	受け入れ先との協議による。		
第2回			
第3回			
第4回			
第5回			
第6回			
第7回			
第8回			
第9回			
第10回			
第11回			
第12回			
第13回			
第14回			
第15回			

課題 作業日誌 実習報告書	
評価方法と基準 評価方法: (1). 口頭試問により社会人としてのコミュニケーションマナーを評価する。 (1). 実習報告書の内容とそれに関する口頭試問により、企業における業務の遂行方法を説明できるかを評価する (1). 作業日誌により、一日の作業報告が的確にできるかを評価する。 評価基準: 実習報告書(70%)、口頭試問(20%)、自己評価(10%)	
教科書等	受け入れ企業などの指定による
先修科目	
関連サイトのURL	
授業アンケートへの対応	昨年度受講者なし
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観されるプログラム教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。